

よりあいコミュニティソーシャルワークス  
2023 年度 事業計画  
(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日)

## 全体の方針

当期で市民コミュニティソーシャルワーカー研修会は 5 期目、こおりやま福祉よりあい会議は 6 期目を迎えるにあたり、蓄積してきたリソースやノウハウを発展的に活かすべく、各事業に統合的に反映させることを目標とする。

また同時に、刻々と変化する地域課題ニーズを踏まえ、対象とする市民及び支援者への効果的なサポート提供を通して更なる地域力向上を目指すために、相乗効果が期待される協働事業の推進、次年度以降の継続に向けた運営体制と団体基盤強化、およびカリキュラムやプラットフォーム整備を行っていく。

## 地域福祉の担い手の連携促進をはかる活動

### (こおりやま福祉よりあい会議)

昨年度のこおりやま福祉よりあい会議で、支援現場での様々な課題を話し合ってきた経緯から、当事者も含めた異なる主体が重なり合って支援ネットワークを構築するにあたっての「話し合い」の場づくりや、そこに関わる当事者としての自己の在り方が欠かせない要素として表出してきた。これを受けて、今年度は年間通して「地域福祉における話し合い文化の醸成」をプロジェクトテーマとして取り組む計画である。

参加者の実践ケースから要素を抽出・整理し、最終的には次年度にまたぐ事業として「話し合いケースブック」としてまとめ、地域支援の現場における「話し合い」の活用モデルとして広く発信することを目的としている。

## 地域福祉の担い手の支援力向上をはかる活動

### (市民コミュニティソーシャルワーカー研修会)

今期で 5 期を迎える市民コミュニティソーシャルワーカー研修会は、昨年度までのカリキュラム運用を見直し、より学びやすく実践活用できる学びを目指してコース整備等を行い、次年度のフル稼働に向けて今年度は暫定稼働としたい。

具体的には、年間カリキュラムとしては、昨年度までに蓄積された研修動画リソースを活用してのオンデマンドコースを稼働させつつ、リアル研修としては、今年度企画をしている後述の「地域力向上をはかる活動」に直接紐づけする形で各研修コースを行い、学びと実践を絡めて行う。

CCSW の核となるコミュニティソーシャルワーク基礎研修としては、1 日 1 テーマに絞って午前と午後を通して、座学とワーク・ディスカッションをセットとした 1 回完結型の講義を行い、テーマ別探求研修として行いたい。

市民コミュニティソーシャルワーカーの概念や研修会取組としては徐々に他団体からは認知されつつあり、協働事業やカリキュラム共同開発の提案等をいただいている（こおりやま子ども若者ネットワーク、いわき自立生活センター、あさか開成高校探求カフェ等）ことから、特に地域団体側に CCSW の取り組みニーズが高いことがうかがえる。

そうしたことも踏まえながら、地域住民向けへのアプローチと、他団体協働を機会とした地域住民育成・地域力強化の取り組み浸透の両方向の広がりを考えてゆきたい。

## 地域力向上をはかる活動

### （その他計画されている事業）

#### ① 支援者・避難者の聴き書き記録作成と、それを行うための研修事業

発災から避難生活 12 年を迎え、経験を蓄積した支援者の減少や、避難者が暮らす復興公営住宅の居住環境変化等を踏まえ、12 年を越えての「今・ここ」についてのナラティブ調査を行う。

- ・支援者に研修を行い、避難者の聴き書きをおこなってもらう。そこから避難者のこれからの暮らしに必要な支援ニーズを抽出する。支援者自らが住民の声に耳を傾け、これから必要とされる支援の在り方を探求すると同時に、そのための聴き書きスキルを支援者に身につけてもらい、今後の支援での当事者ニーズ把握に活かしてもらうことを目標とする。
- ・また支援者にもナラティブインタビューを行い、これまで現場で培ってきた取り組みから支援スキルの要素を掘り起こし、見える化することで、支援者のエンパワメントを行う。それら取り組みと調査研究をまとめた記録誌を発行する。

協働対象：ふくしま連携復興センター、福島県社会福祉協議会、NPO 法人みんな  
その他市町村社協

#### ② フードバンク食材を活用した防災研修（※オープンデータラボの協働事業）

フードバンク福島および地域フードバンク等から提供予定の食材を使い、いざという時の防災備蓄やフードドライブとしての活用も提案しながらの防災研修を行う。

また保存食づくりを防災食に活用するという切り口から、生活経験豊かなシニアの方々のノウハウを引き出し、やりがいづくりに繋げる。

この防災研修を、復興公営住宅及びその近隣町内会を対象とし、復興公営住宅住民の地域包摂と、復興公営住宅を含めた地域力向上を目的として開催する。また取り組みをデータとして記録・公開し、地域の取り組みモデルとして発信する。

協働対象：フードバンク福島、NPO 法人みんな、市町村社協、民間企業

③ **地域福祉で活用する ICT プラットフォームの整備事業（※オープンデータラボの協働事業）**

潜在的な地域住民が地域の担い手に参画するハードルを下げ、情報の入手や課題・ニーズの表明をやすくするためのプラットフォーム構築を検討する。今年度はそのためのニーズやエビデンス調査を主に行う計画である。

以上